

会 議 要 録

会議名称	令和6年度第2回佐倉市障害者総合支援協議会
開催日時	令和7年3月13日 13時30分～15時55分
開催場所	佐倉市役所 社会福祉センター3階 中会議室
出席者等	委 員：大藏委員、須藤委員、鎌田委員、永山委員、近藤委員、 松山委員、木村委員、篠塚委員、大賀委員、安部委員 (欠席：秀島委員、松島委員、松本委員、鈴木委員、) 事務局：福祉部 山本部長 障害福祉課 松澤課長、日暮副主幹、土屋主査、 東城主査、平野主査、長谷川主査補、佐藤主査補
会議議題	① 令和6年度専門部会等の取組について ② 医療的ケア児・者等とその家族のための支援アクションプランについて ③ 災害時要支援者にかかる個別避難計画の作成について ④ 障害理解促進事業の今後の方向性について ⑤ 日中サービス支援型共同生活援助の定期報告(非公開) ⑥ 株式会社 恵の不正行為等への対応について(非公開) ⑦ 令和6年度障害者虐待について(非公開)
会議経過	別紙 令和6年度第2回佐倉市障害者総合支援協議会 会議要録のとおり

令和6年度第2回佐倉市障害者総合支援協議会 会議要録

【1 開会】

【2 議題等】

- ① 令和6年度専門部会等の取組について
- ② 医療的ケア児・者等とその家族のための支援アクションプランについて
- ③ 災害時要支援者にかかる個別避難計画の作成について
- ④ 障害理解促進事業の今後の方向性について
- ⑤ 日中サービス支援型共同生活援助の定期報告（非公開）
- ⑥ 株式会社 恵の不正行為等への対応について（非公開）
- ⑦ 令和6年度障害者虐待について（非公開）

【3 閉会】

① 令和6年度専門部会等の取組について

令和6年度専門部会の取組について各部長から資料に沿って報告。次いで、令和6年度佐倉市精神障害者相談支援事業および令和6年度佐倉市療育支援コーディネーター配置事業についての概要報告を行った。

質疑

（委員）

医療的ケア児・者は、具体的にどのような方のことを指し、何が必要なのか？

（委員）

「医療的ケア児・者」について、生活支援部会では、①人工呼吸器を常時装着している者 ②電源喪失により生命の維持に懸念がある医療機器（人工呼吸器を除く）を常時装着している者 ③その他市長が必要と認めた者の中で65歳未満の医療的ケアが必要な者と定めており、現在28名を把握している。部会では、災害対策に重点を置き、個別避難計画の作成に向けて取り組んでいる。

（委員）

「療育支援・教育部会」の「教育」という意味は？

（委員）

「療育支援・教育部会」は障害のあるお子さんが、佐倉市で暮らしていくにあたり、どのような配慮や支援が必要かということをお話している。本部会では、主に児童期未就学の方については、どのような療育支援が必要なのか、就学期においては、今度は教育の中に

特別支援教育という文言が出てくるので、どのように連携を進めていくのかなど、お子さんの暮らしに着目すると、それぞれのステージで療育、教育、福祉が関わってくるので、「療育支援・教育部会」という名前になっている。

（委員）

精神障害者相談支援事業の統計データについて、どのように活用を考えているのか？

（事務局）

国に件数など統計資料を提出しており、施策に生かされているものとする。市としてもデータの活用方法については検討してまいりたい。

②医療的ケア児・者等とその家族のための支援アクションプランについて

療育支援・教育部会では、病院から退院した後、地域で暮らしていくために必要となる医療的ケアについて考え、どのような支援を進めていくべきかが必要なのかを検討している。

医療的ケア児・者や、その家族の方々が健やかに安心した生活を送ることができるよう、対応策の検討や実施について、スピード感を持って対応するために、アクションプランを策定し、総合支援協議会から市に提言する形で進めたい。令和 7 年度はこのプランに基づき、市と連携を図りながら、当事者や関係機関等の意見を踏まえ、一つ一つ対策、対応の検討や、実現を図りたい。

質疑

（委員）

医療的ケア児・者へのサポートはとても大きな課題であると思う。資料の中のアンケートを見ても切実さが伝わってくる。アンケートに回答していないかたもいるが、どのように需要を調査していくのか伺いたい。

（委員）

アンケートをはじめ、対象のかたにお話を伺って、必要な支援をさぐりたいと考えている。その他さまざまな課題を把握するため、保護者のかた 10 人ほどで集まり、茶話会という形式でざっくばらんにお話を伺っている。

（委員）

アクションプランの内容を見ると、すぐ取り組めるものから、県や国と連携する必要があるもの、費用がかかるものなどさまざまであり、優先順位や実現可能性に差があると思う。アクションプランを進めていく中で、改善点やスピード感などをどのように見直していくのか？

（委員）

今後、茶話会の輪を広げていたり、いろいろな意見を聞いたりしながら、内容の精査・検討を進めて見直しを図っていきたいと考えている。

(委員)

せっかくアクションプランを作ったので、総合支援協議会の場で随時進捗を報告していただき、言いつ放しにならないようにしていただきたいと思う。

医療的ケア児・者等とその家族のための支援アクションプランを市へ提言することについての決議⇒賛成全員で可決。

③災害時要支援者にかかる個別避難計画の作成について(資料3)

令和8年度までに個別避難計画に着手できる環境整備を進める予定。
佐倉市には、個別避難計画作成対象者は障害者を含めて、2500名程度。

質疑

(委員)

個別避難計画を作成する優先順位について、ハザードマップにおける浸水想定区域や土砂災害警戒区域などで優先順位を決めるのか、程度が重かったり、独居だったりする家庭事情で決めるのか伺いたい。

(事務局)

ハザードマップにおける浸水想定区域や土砂災害警戒区域などで優先順位を決めている。

(委員)

個別避難計画には医療福祉の細かい情報まで記載される必要がある。個人情報共有される中で最終的に管理を行うのは誰になるか確認をしたい。

(事務局)

市の危機管理課と社会福祉課、障害福祉課の方で保管し、避難先などで必要となった際には、情報提供希望書の提出を受け、市で判断して必要であれば、お渡しする運用を想定している。

④障害理解促進事業の今後の方向性について(資料4-1、4-2)

市では12月3日から9日の障害者週間に合わせてパラスポーツ関連イベントを開催しているが、近年、集客が課題となっている。人が集まるイベントにブースを設置するなど方針転換が必要であると考えている。

(委員)聴覚障害のかたの話を最近伺い、生活する大変さを再認識した。今年はデフリンピックの開催もあるため、情報発信していただきたいと思う。

(委員)

千葉県社会福祉協議会の福祉推進連絡会議では、福祉教育プログラム集を作って配布している。高齢者福祉や障害福祉など学校の 45 分授業の中でプログラム化したものがあるのでぜひご活用ください。

(委員)

障害者作品展でワークショップを準備し、来場者と一緒になって作れるような取り組みを行ってもよいと思う。

⑤日中サービス支援型共同生活援助の定期報告(非公開)

⑥株式会社 恵の不正行為等への対応について(非公開)

⑦令和 6 年度障害者虐待について(非公開)

～閉会～